

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	プロテオーム解析による直腸癌術前化学療法抵抗機序の解明			
2. 対象患者	当施設で直腸癌に対し手術治療を実施された患者様			
3. 対象となる期間	2016年1月1日		～	2024年12月31日
4. 実施診療科等	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	久保田 隼介	所属	消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	プロテオーム解析は組織に発現する蛋白質を網羅的に解析する研究手法であり、様々な病態の解明や新規治療法の開発に寄与してきました。局所進行直腸癌に対する現標準治療は術前化学放射線療法後の手術治療です。放射線治療による直腸機能障害の回避を目的として、当施設では術前化学療法に関する第Ⅱ相臨床試験を行い、有用性を証明しました。高い完全奏成功率を示した一方で、50.0%の症例での治療効果はごく軽度に留まりました。これらの症例に対する新規治療戦略を構築し、予後を改善するためには、術前化学療法抵抗性直腸癌に特有の悪性性質の解明が必須であると考えます。			
8. 研究の目的	プロテオーム解析を用いて、局所進行直腸癌の術前化学療法抵抗性に関わる分子学的特徴を明らかにします。また、治療標的となる特異的蛋白質を発見することで今後の新規治療法開発に寄与します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	本研究では直腸癌に対する手術治療を施行された患者様の病理標本を使用し研究を行います。標本のうち、病理診断など患者様の診療に影響しない範囲で癌組織の一部を採取し、蛋白質の抽出および解析を行います。その他に診療録から、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、合併症などの手術関連情報、病理組織所見、予後などの術後情報を収集し解析を行います。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 久保田 隼介			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080

提出先: 医学部附属病院総務課総務グループ(総務・広報担当) mail: jm6453@hirosaki-u.ac.jp

※ 事前に大学院医学研究科倫理委員会の審査を経て許可されている必要があります。

(許可通知の写しを添付のこと)